

水稻乾田直播・子実とうもろこしフォーラム 2026
～農林水産省委託プロジェクト研究「子実用とうもろこしを導入した高収益・
低投入型大規模ブロックローテーション体系の構築プロジェクト」成果報告会～
開催要領

農研機構東北農業研究センター
所長 若生 忠幸

1. 趣 旨

我が国の農業は、気候変動による洪水、干ばつ等の自然災害の多発や、国内人口減に伴う農産物需要の減少・労働力不足、円安等による農業機械・資材価格の高騰など大きな変化に直面しており、農業の生産性向上と持続可能性の両立を図ることが喫緊の課題とされる。こうした課題解決に向け、本フォーラムでは、我が国の生産性の高い持続的な水田農業を確立していくため、米国アーカンソー州の事例から我が国の将来の水田農業の方向性を探るとともに、農林水産省の委託プロジェクトとして令和5年度から3か年間取り組んだ「子実用とうもろこしを導入した高収益・低投入型の大規模ブロックローテーション体系の構築プロジェクト」の研究成果について報告するとともに、省力・低成本生産に寄与する水稻乾田直播栽培と子実とうもろこし栽培の取組事例の検討と、普及方策等について生産者や農業関係者間の意見交換を行う。

2. 開催日時 令和8年3月5日（木）10:30～16:00

3. 開催場所 盛岡市民文化ホール（マリオス）大ホール
盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号

4. 開催プログラム 別紙のとおり

5. 参集範囲 生産者、農業関係団体、行政機関、普及指導機関、試験研究機関、民間企業、農研機構、その他水稻乾田直播・子実とうもろこし栽培に関心のある方

6. 共 催 農研機構東北農業研究センター、子実トウモロコシブロックローテーションコンソーシアム、水稻直播および子実トウモロコシ普及促進会、東北地域農林水産・食品ハイテク研究会、「知」の集積と活用の場「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム

7. 定 員 900名

8. 参 加 費 無料

9. 連絡先 農研機構東北農業研究センター 研究推進部事業化推進室
農業技術コミュニケーター 高橋 渉、新宮 博行、河本 英憲
〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
TEL：019-643-3498 または 3410、FAX：019-641-7794
E-mail：ks-forum2026@ml.affrc.go.jp

10. その他の

- ・オンライン開催（現地開催）で行い、オンライン配信は行いません。
- ・参加申込方法の詳細については、別途事務連絡いたします。
- ・参加申込者数が受付締め切り前に定員を超えた場合は、受付を終了させていただきます。

水稻乾田直播・子実とうもろこしフォーラム 2026
～農林水産省委託プロジェクト研究「子実用とうもろこしを導入した高収益・
低投入型大規模ブロックローテーション体系の構築プロジェクト」成果報告会～

プログラム

会場：盛岡市民文化ホール(マリオス)大ホール

1. 開 会	10:30
2. 挨 捶	10:30～10:40
農研機構東北農業研究センター 所長 岩手県農林水産部農業普及技術課 総括課長	若生 忠幸 鈴木 茂寿
3. 基調講演	10:40～11:15
「日本の常識」を超えた水田農業－米国アーカンソー州から考 える日本の水田農業の将来と強み－ 農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域 ICT 技術活用グループ 主任研究員	篠遠 善哉
4. 成果報告	
「子実用とうもろこしを導入した高収益・低投入型大規模ブロックローテーション 体系の構築プロジェクト（令和5～7年度）」成果報告	
座 長：農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域長	長谷川 啓哉
1) 東北地域における高収益・低投入型ブロックローテーション体系の構築	11:15～11:40
農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域	冠 秀昭
農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域	幸田 和也
2) 九州地域における高収益・低投入型ブロックローテーション体系の構築	11:40～12:05
農研機構九州沖縄農業研究センター暖地水田輪作研究領域 佐賀県神埼市 (有)アグリベースにいやま 代表	高橋 仁康 古賀 洋一郎
(昼食・休憩 12:05～13:30)	
5. 事例報告	
座 長：農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域長	長谷川 啓哉
1) 水稻乾田直播栽培（北海道岩見沢市）	13:30～13:55
岩見沢市農業試験圃 農業技術専門員	西飯 弘行
2) 子実とうもろこし栽培（福島県南相馬市）	13:55～14:20
福島県相双農林事務所農業振興普及部 技師 (株)相馬牧場 代表取締役	野口 泰世 相馬 秀一
(休憩 14:20～14:30)	
6. パネルディスカッション	14:30～16:00
テーマ：「高収益・低投入型ブロックローテーションの普及による 持続的な水田農業の確立に向けて」	
座 長：農研機構東北農業研究センター緩傾斜畑作研究領域長	高橋 智紀
パネリスト：(有)アグリベースにいやま 代表 全農鳥取県本部 本部長	古賀 洋一郎 小里 司

岩見沢市農業試験圃 農業技術専門員 西飯 弘行
福島県相双農林事務所農業振興普及部 技師 野口 泰世
(株)相馬牧場 代表取締役 相馬 秀一
農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域 篠遠 善哉
農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域 冠 秀昭
農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域 幸田 和也
農研機構九州沖縄農業研究センター暖地水田輪作研究領域 高橋 仁康

7. 閉　　会

16:00